

# 小学6年 適性検査A — 解答と解説

1

(1) ①																			
A	7	月	20	日	B	8	月	6	日	C	7	月	20	日	D	8	月	1	日
21				22				23				24							

(1) ②					
E	正	午	F	子	午
25			26		

【例】 (2)

グラフ1から、ニホンウナギの生産量が減ると平均単価が上がり、ニホンウナギの生産量が増えると平均単価が下がると考えられる。

27

(3)								
ア	39.2	%	イ	60.7	%	ウ	2.5	%
28			29			30		

(4)		【例】	(4)																													
記号	ウ	理由	小	型	レ	プ	ト	セ	フ	ア	ル	ス	が	最	も	多	く															
31		見																つ	か	っ	て	い	る	場	所	の	近	く	だ	か	ら	。
		20																32														

(5)			
①	ア	②	ウ
33		34	

【例】	(6)																			
生											産	量	が	安	定	す	る			
											10									
											35									

【例】 (7)

魚を食 べ る と き に、骨 を と る の が 面 倒 だ と 思  
 う 人 が 多 い の で は な い か と 思 う。 そ こ で、 魚  
 の 骨 を き れ い に と っ た 状 態 で 売 れ ば、 骨 を と  
 ら な く て す む の で、 よ り 多 く の 人 に 魚 介 類 を  
 消 費 し て も ら え る よ う に な る と 思 う。

36

**2**

(1)	
<p>【例】 (カップA)</p> <p>カップAの水面は6時間前より低く、ラップの内側とカップの内側に水てきがついていると考えられる。</p>	<p>(カップB)</p> <p>カップBの水面はカップAの水面よりも低くなっていると考えられる。</p>
37	38

(2)	
<p>(気温)</p> <p>2.65 (°C)</p>	<p>(式や考え方)</p> <p>【例】  <math>(15.0 - 13.7) \div 2 = 0.65</math>より、100m上昇すると気温が0.65°C下がる。  <math>15 - 0.65 \times (1900 \div 100) = 2.65</math>より、2.65°Cとなる。</p>
39	40

(3)
イ
41

(4)	
<p>(記号)</p> <p>ア・イ</p>	<p>(説明)</p> <p>【例】海よりも陸の方があたたまりやすいので、昼間はあたたまって軽くなった陸の空気が上昇する。上昇した後、冷たい空気が海から陸に流れこんでくるので、海から陸に風がふくと考えられる。</p>
42	43

(5)			
①	5	(g)	② 4.8 (%)
	44		45

(6)	
<p>(誤っている点)</p> <p>ビーカーから直接ろうとに流しこんでいる点。</p>	<p>(正しい方法)</p> <p>ガラス棒にビーカーの液体を伝わらせて注げばよい。</p>
46	47

(配点)

- ①(1)①、②、②(1)(カップB)、(2)(気温)、(4)記号、(6)(誤っている点)……各2点  
 ①(4)記号、②(1)(カップA)、(2)(式や考え方)、(3)、(4)(説明)、(5)①、(6)(正しい方法)……各3点  
 ②(5)②……4点 ①(2)……9点 ①(7)……11点 他、各5点 計100点

【解 説】

① ニホンウナギをテーマとした問題

(1) **B1** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、置きかえる力、知識を正しく活用する力が求められます。

① 「土用の期間は立秋をふくまない前の18日間」という点に着目します。今年の立秋は8月7日なので、この日をふくまない前の18日間になるので、7月20日から8月6日になります。また、今年の立秋が未になるので、そこから十二支の順番を逆のぼっていけば、7月20日と8月1日が丑の日だとわかります。

② 昼12時を正午といえます。図1の「子」が北、「午」が南となっている点に着目します。経線は南北を通る線であることから、図1の北を指している「子」と、南を指している「午」を合わせて子午線といえます。

(2) **B1** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、情報を分析して推論する力、自分の意見を具体化して表現する力が求められます。

グラフ1から、ニホンウナギの生産量が増えた年は平均単価が下がり、生産量が減った年は平均単価が上がっていることが読み取れます。この問題では、①「ニホンウナギの生産量が減ると平均単価が上がる」「ニホンウナギの生産量が増えると平均単価が下がる」と同等の内容がそれぞれ書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

(3) **B1** この問題では、資料を読み取る力、知識を正しく活用する力が求められます。わり切れない場合は小数第2位を四捨五入して、小数第1位までの数で答えることに注意します。

- ア  $20119 \div 51345 = 0.3918 \dots$ より、39.2%です。
- イ  $31156 \div 51345 = 0.6067 \dots$ より、60.7%です。
- ウ  $70 \div 2803 = 0.0249 \dots$ より、2.5%です。

(4) **B1** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、情報を分析して推論する力、自分の意見を具体化して表現する力が求められます。

7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20(丑)	21(寅)
土用の期間(18日間)						
22(卯)	23(辰)	24(巳)	25(午)	26(未)	27(申)	28(酉)
29(戌)	30(亥)	31(子)				

8月						
日	月	火	水	木	金	土
			1(丑)	2(寅)	3(卯)	4(辰)
5(巳)	6(午)	7(立秋)	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

図2からニホンウナギは、卵→小型レプトセファルス→レプトセファルス→シラスウナギ→ウナギと成長していくことがわかります。よって、図3で、生まれて間もない「小型レプトセファルス」が最も多く見つかった場所の周辺が、産卵場所として最もふさわしいと考えられます。よって、ウが最もふさわしいと考えられます。この問題では、①「小型レプトセファルスが最も多く見つかった場所」と同等の内容が書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

- (5) **B2** この問題では、複数の資料を読み取り情報を収集する力、情報を関連づけ推論する力が求められます。

- ① 図3から、シラスウナギが最も多くとれる場所はアと考えられます。
- ② グラフ3から、1991年より1997年の1回の採集で1人が1時間に採集したシラスウナギの数が減っていること、また、けんた君たちの会話から、ニホンウナギの完全養殖はまだ難しいことがわかります。よって、今後ニホンウナギの養殖量が減ることが予測されます。

- (6) **B2** この問題では、複数の資料を読み取り情報を収集する力、情報を関連づけ推論する力、自分の意見を具体化して表現する力が求められます。

グラフ4より、天然ブリより完全養殖ブリの方が生産量が安定していることがわかります。また、完全養殖ができないウナギの場合、シラスウナギがとれないと養殖できません。よって、ウナギも完全養殖ができるようになれば、生産量が安定すると考えることができます。この問題では、①「養殖ウナギの生産量が安定する」と同等の内容が書かれているかどうか、②表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

- (7) **C1** この問題では、複数の資料を読み取り情報を収集する力、情報を関連づけ推論する力、知識を正しく活用する力、自分の意見を具体化して表現する力が求められます。

魚介類の消費を増やすために、あなたはどのような方法を考えましたか。たとえば、骨をとったり、うろこをとったり、おろしたりなど、魚を食べやすい形に加工して売ることが考えられます。骨が気になることもなく、また、自分で下ごしらえをすることもなくなるので、より多くの人に魚介類を消費してもらえるようになるかもしれません。また、魚介類の調理方法やおいしい食べ方などをインターネットを通じて多くの人と共有することが考えられます。より多くの人に関心を持ってもらえるようになり、その結果、より多くの魚介類を消費してもらうことができるようになるかもしれません。他にも有効な方法がさまざま考えられます。この問題では、①「日本で魚介類の消費を増やすための具体的な方法」「示された方法が有効である理由」がそれぞれ書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

② 水をテーマとした問題

- (1) **B1** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、比較する力、自分の意見を具体化して表現する力が求められます。

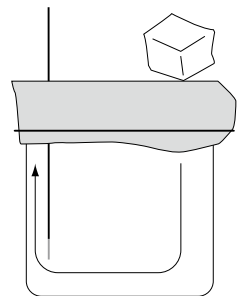
カップAはすきまなくラップがしてあるため、カップの水面から蒸発した水蒸気はカップの外に出ることができません。そのため、この水蒸気はラップやカップの内側について水てきになるため、カップの水面は6時間前より下がっていることが考えられます。一方、カップBはラップをしていないため、カップの水面から蒸発した水蒸気が空気中に拡散していくこととなります。そのため、カップの水面は6時間前より下がっていることとなります。このとき、ラップをしていないカップBの水面の方が、カップAの水面よりも低くなることが考えられます。「カップA」については、①「カップA内の変化について」正しく書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。「カップB」については、①「カップAと比べてわかるカップBの水面の変化について」正しく書かれているかどうか、②表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

- (2) **B1** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、知識を正しく活用する力が求められます。

表1から読み取れる規則に着目します。 $15.0 - 13.7 = 13.7 - 12.4 = 12.4 - 11.1 = \dots = 1.3$ より、200m上昇するごとに $1.3^\circ\text{C}$ 下がることがわかります。つまり、100m上昇すると、気温は $0.65^\circ\text{C}$  ( $= 1.3 \div 2$ )下がります。よって、 $15 - 0.65 \times (1900 \div 100) = 2.65$ より、この地点で高度が1900mの場合、気温は $2.65^\circ\text{C}$ となります。この問題では、①答えを求めるまでの正しい式や考え方が書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

- (3) **B1** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、置きかえる力が求められます。

「冷やされた空気は下降すること」を証明する実験を行うために、実験装置を準備します。ア、ウ、エは空気を冷やす氷がピーカーの下に置かれていますが、イは氷がピーカーの上に置かれています。そのため、イは水で冷やされた空気が下降するようすを確認することができる実験装置と考えられます。このとき、右の図のように、線香から出たばかりのけむりはあたたかいので上昇します。そして、氷の真下にあるけむりは冷やされて下降します。



- (4) **B2** この問題では、知識を正しく活用する力、理由を具体化して表現する力が求められます。

海(水)よりも陸(地面)の方が温まりやすく冷めやすいので、昼間は陸の気温の方が海よ

りも高くなります。そのために、陸上にある空気は上昇していきます。そこへ海上にある冷たい空気が陸に流れ込んでいきます。これが海風です。夜は陸上の空気が冷やされて下降し、海へ流れていきます。これが陸風です。ちなみに、海風と陸風の入れ替わるときに「凧」といって風が止まります。この問題では、①「海よりも陸の方があたたまりやすいこと」「あたためられた空気が上昇したあと、海から冷たい空気が流れてくる」と同等の内容がそれぞれ書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

- (5) **B1** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、置きかえる力、知識を正しく活用する力が求められます。

① 水の量が100gの半分となるので、とけるホウ酸の量も半分になります。図3より、60℃の水100gのときは15gのホウ酸がとけているので60℃の水50gなら、 $15 \div 2 = 7.5$  (g)のホウ酸がとけていることになります。20℃の水100gのときは5gのホウ酸がとけているので、20℃の水50gなら、 $5 \div 2 = 2.5$  (g)のホウ酸がとけていることになります。よって、とけきれなくなって再びあらわれるホウ酸の量は、 $7.5 - 2.5 = 5$  (g)となります。

② ①より、20℃の水50gにとけているホウ酸の量は2.5gです。 $2.5 \div (50 + 2.5) = 0.0476$ …より、4.8%です。

- (6) **B1** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、知識を正しく活用する力、理由を具体化して表現する力が求められます。

図4のようにビーカーの液体を注ぐと、液体がとびはねたりろ紙からこぼれてしまいます。そのため、ガラス棒にビーカーの液体を伝わらせて静かに注ぐ必要があります。「間違い」については、①誤りを正しく指摘しているかどうか、②表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

「正しい方法」については、①ガラス棒を使って液体を注ぐことと同等の内容が書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

# 小学6年 適性検査B — 解答と解説

## 1

(1)	(2)
	ウ
(完答) 21	22

(3)	
① 4	② 1
23	24

## 2

(1)		(2)	
1	△	3	□
25		4	◇
		2	
		(完答) 26	

(3)		(4)	
① 2	② $\frac{1}{6}$	9、11、12、15	
27	28	(完答) 29	

(5)	
31 (個)	(記号) イ
30	31

## 3

(1)	(2)	(3)	
ア 50 円	イ 12 円	ウ 9 円	エ 38 円
32	33	34	35
			オ 3400 ウォン
			36

(3)		(4)	
カ 20 元	キ え	ク え	
37	38	39	

(5)	
(答え)	(式や考え方)
8670 円	【例】 $4000 - 490 = 3510$ (元) ……品物の値段 $3510 \div (1 + 0.17) = 3000$ (元) ……消費税なしの品物の値段 $3510 - 3000 = 510$ (元) ……品物の消費税 $17 \times 510 = 8670$ (円)

41

**4**

(1)	(2)	(3)
547 羽	イ	11.0 %
①	②	
イ	イ、エ、オ	
42	43	(完答) 44

45

(4)																			
【例】																			
高	速	で	回	転	し	て	い	る	た	め、	ブ	レ	ー	ド	が	見	づ	ら	
い	こ	と、	ま	た、	獲	物	を	探	す	と	き、	空	か	ら	地	上			
に	目	を	向	け	る	た	め、	ブ	レ	ー	ド	に	気	づ	き	に	く	い	
こ	と	が	考	え	ら	れ	る。												

46

(5)			
③	21 回	④	19 回

(完答) 47

(配点)

- ①(1)、(3)①、②(5)、③(1)、(2)、④(1)、(3) ……各4点
- ①(3)②、②(4)、③(5)(式や考え方)、④(4)、(5) ……各5点
- 他、各3点
- 計100点

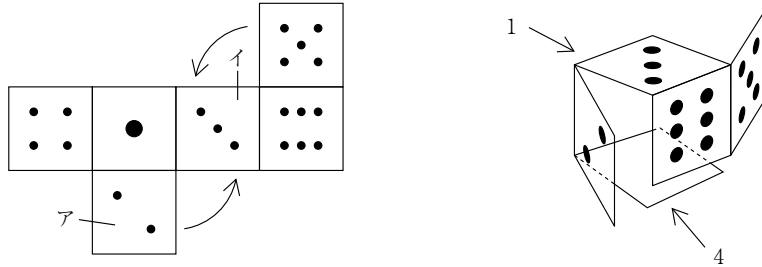


【解 説】

① 立体の展開図と移動てんかいずについての問題

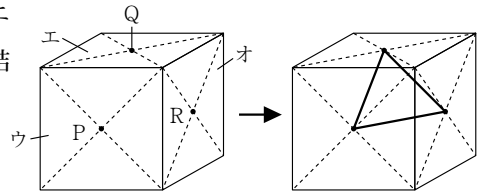
- (1) **A2** この問題では、資料を読み取り情報を収集しゅうじゅうする力、知識を正しく活用する力が求められます。

問題の図1の6の面と向かい合っている面の目は1(=7-6)になります。このことに着目して考えると、正しい展開図は次の図のようになります。



- (2) **B1** この問題では、置きかえる力、視点してんを変える力が求められます。

右の図のように、面ウの中心となる点Pと面エの中心となる点Qと面オの中心となる点Rを結ぶと、右の図のように正三角形になります。



- (3) **B2** この問題では、情報を活用する力、置きかえる力、調べる力が求められます。

- ① 問題の図5のようにサイコロを転がすと、1周して元もとに戻ることに着目します。右の図1のように2回転がしてもBの位置でのサイコロの面は、問題の図6のように転がしたときと同じになることがわかります。サイコロを転がすようすを真上から見ると右の図2のようになります。

図1

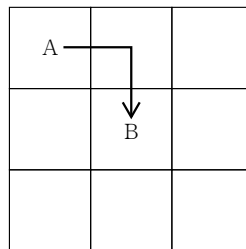
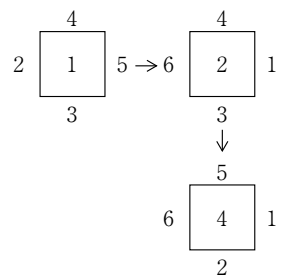


図2



よって、サイコロの上の面の目は4です。

- ② ①と同様に考えます。この場合、下の図3のように6回転ができればよいことがわかります。①より、Bのサイコロの上の面の目は4とわかっています。Bからサイコロを転がすようすを真上から見ると、下の図4のようになります。よって、図4より、サイコロの上の面の目は1です。

図3

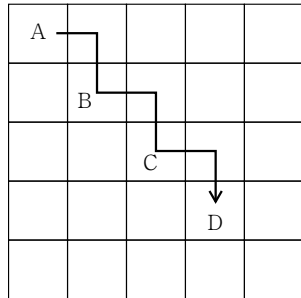
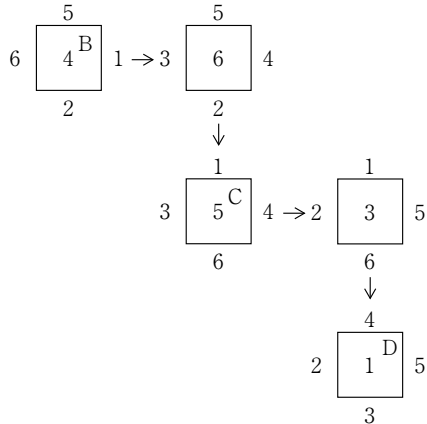


図4



② 約束記号についての問題

- (1) **B2** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、置きかえる力、調べる力が求められます。

式1に着目します。△と○を計算すると、答えが△になることから、式1は、 $\triangle \times 1 = \triangle$ か、 $\triangle \div 1 = \triangle$ となります。よって、 $\bigcirc = 1$ です。

- (2) **B2** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、置きかえる力、調べる力が求められます。

式2に着目します。 $\bigcirc = 1$ より、◇と1を計算すると◇となることから、◇は $\diamond \times 1 = \diamond$ か、 $\diamond \div 1 = \diamond$ と考えられます。それぞれの場合を検証します。

◇が $\diamond \times 1 = \diamond$ の場合

$\square \div \diamond = \square \times \diamond$ なので、◇は $\square \times \diamond = \diamond$ より、 $\square = 1$ となります。しかし、 $\bigcirc = 1$ なので、条件に合いません。

◇が $\diamond \div 1 = \diamond$ の場合

$\square \div \diamond = \square \div \diamond$ なので、◇は $\square \div \diamond = \diamond$ より、2、3、4のうち、2つの数を使って $\square \div \diamond = \diamond$ となる場合を考えます。

すると、 $4 \div 2 = 2$ が考えられることがわかります。よって、◇は $\diamond \div 1 = \diamond$ 、 $\square = \frac{4}{2} = 4 \div 2$ より、 $\square = 4$ 、 $\diamond = 2$ です。このとき、 $\triangle = 3$ です。

よって、このように式1はかけ算で、式2はわり算を分数の形で表していることがわかります。すると、式3は、たし算か、ひき算のどちらかであることがわかります。この

とき、 $\triangle=3$ 、 $\bigcirc=1$ 、 $\square=4$ から、 $\triangle\bigcirc=\square$ は $3+1=4$ となるので、この計算はたし算とわかります。

残った式4は引き算とわかります。 $\square=4$ 、 $\diamond=2$ から、 $4-2=2$ とわかります。

以上より、 $\triangle=3$ 、 $\square=4$ 、 $\diamond=2$ です。

(3) **B1** この問題では、置きかえる力、調べる力が求められます。

(1) (2)で、記号の並びと計算の関係がわかったので、それぞれの場合を明らかにしていきます。

①  $\square\diamond\triangle$ は $\square+\diamond-\bigcirc-\triangle$ となることがわかります。

よって、 $\square+\diamond-\bigcirc-\triangle=4+2-1-3$ より、2です。

② この場合は2つの式が考えられますが、どちらの計算であっても答えは同じになります。

1つは、 $\triangle\bigcirc$ と $\square$ を先に計算して、それぞれをかける場合です。

$$(2\div 3)\times(1\div 4)=\frac{1}{6}$$

もう1つは、 $\diamond\bigcirc$ と $\triangle\square$ を先に計算して、それぞれをわる場合です。

$$(2\times 1)\div(3\times 4)=\frac{1}{6}$$

よって、答えは $\frac{1}{6}$ です。

(4) **B2** この問題では、置きかえる力、調べる力が求められます。

問題の図7の記号の並べ方は、ア+イ×ウ+エになります。ア、イ、ウ、エにそれぞれ1、2、3、4をあてはめていきます。計算の順番に注意して考えられる式と答えの組み合わせを調べると、次のようになります。

$$\cdot 1+2\times 3+4=11$$

$$\cdot 1+2\times 4+3=12$$

$$\cdot 1+3\times 4+2=15$$

$$\cdot 2+1\times 4+3=9$$

$$\cdot 2+1\times 3+4=9$$

$$\cdot 3+1\times 2+4=9$$

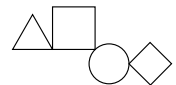
よって、考えられる答えは、9、11、12、15の4通りです。

(5) **B1** この問題では、置きかえる力、調べる力、構造をとらえる力が求められます。

図1のような、4個の記号が周期となり、くり返されています。

図1

つまり、 $3\times 4+1\times 2=14$ が1つの周期の和となりくり返されています。



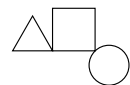
何周期あるかを求めると、

$$111\div 14=7\text{周期あまり}13\text{になります。}$$

あまりの13は $13=3\times 4+1$ となり、最後の周期は記号が1個足りずに

図2

図2のように周期の3個目の $\bigcirc$ で終わっていることがわかります。



よって、 $4\times 7+3=31$ (番目)です。

③ 消費税についての問題

- (1) **B1** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、知識を正しく活用する力が求められます。

1.08をかけても1.1をかけても整数になる2けたの数を考えます。

$1.08 = 1\frac{8}{100} = \frac{27}{25}$ なので、1.08をかけて整数になるのは25の倍数です。

また、 $1.1 = 1\frac{10}{100} = \frac{11}{10}$ なので、1.1をかけて整数になるのは10の倍数です。

よって、1.08をかけても1.1をかけても整数になる数は25と10の最小公倍数である50の倍数であり、そのうち2けたである数は50だけです。

- (2) **B1** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、知識を正しく活用する力が求められます。

小数点以下は切り捨てるので、消費税として考えられる最低の値段は1円です。1円が8%にあたる値段と10%にあたる値段をそれぞれ求めます。

$$1 \div 0.08 = 12.5 \text{ (円)}, 1 \div 0.1 = 10 \text{ (円)}$$

よって、消費税がかからないのは、消費税が8%のときは12円以下の場合で、消費税が10%のときは9円以下の場合となります。よって、**イ**は12(円以下)、**ウ**は9(円以下)です。

- (3) **B1** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、置きかえる力、知識を正しく活用する力が求められます。

**エ** 消費税27%は消費税8%より、 $27 - 8 = 19$ (%)高いため、価格は  
 $200 \times 0.19 = 38$ (円)高くなります。

**オ** 10ウォンが1円であることから、340円は、 $340 \times 10 = 3400$ (ウォン)です。

**カ** 1円が17円であることから、340円は、 $340 \div 17 = 20$ (<sup>げん</sup>元)です。

以上より、**エ**は38(円)、**オ**は3400(ウォン)、**カ**は20(元)です。

- (4) **B1** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、置きかえる力、知識を正しく活用する力が求められます。

10ウォンが1円であること、また、韓国の消費税が10%であることから、「この品物の値段を消費税込みの韓国ウォンで表す」には、 $A \times 10 \times (1 + 0.1)$ と計算すればよいことがわかります。また、「消費税なしの日本円で「3000円」と表されている場合、消費税込みの韓国ウォンで表す」と、 $3000 \times 11 = 33000$ より、33000ウォンとわかります。

- (5) **B2** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、置きかえる力、知識を正しく活用する力、自分の考えを具体化して表現する力が求められます。

$4000 - 490 = 3510$ より、品物の値段は3510元とわかります。また、「中国で品物を買うときにかかる消費税は、商品の値段の17%」とあるので、 $3510 \div (1 + 0.17) = 3000$ より、3000元が消費税なしの品物の値段とわかります。よって、中国で支払った消費税は、

$3510 - 3000 = 510$ より、510円となります。

1元が17円であることから、品物を買ったときに支払った消費税を日本円で表すと、 $17 \times 510 = 8670$ (円)となります。この問題では、①答えを求めるまでの正しい式や考え方が書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

④ ワシの生態についての問題

- (1) **B1** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、知識を正しく活用する力が求められます。

1つがい(夫婦)が2羽だから、 $2 \times 177 + 9 + 29 + 2 \times 32 = 456$ (羽)が、登録されているつがい、相手が消失した個体、単独でいる個体、未登録のつがいをふくめた「全個体数」とわかります。この20%が、さらに存在する個体として推定されています。

よって、 $456 \times (1 + 0.2) = 547.2$ より、およそ547羽となります。

ちなみに、2018年現在では、全体の生息状況がさらに悪化しているので、およそ500羽程度と推定されています。

- (2) **B2** この問題では、複数の資料を読み取り情報を収集する力、比較する力、調べる力が求められます。

① 図1から、伐採地や老齢な自然林だと木が少なく地面が見やすいことが考えられます。よって、エサになる小動物を見つけやすいので狩り場として適していることが考えられます。

② グラフ2の年代Aと年代Bを比べて、正しく読み取れるかどうかを確認していきます。

ア：年代A、年代B共に、1月～3月より6月～8月の方が「低木・草地」が多くなっています。よって、正しいとは言えません。

イ：年代Aでは8月、年代Bでは6月を除き、すべての月で「落葉樹林」が見られます。よって、正しいことがわかります。

ウ：「スギ」が見られる月は、年代Aでは1月、2月、5月、7月、11月、12月、年代Bでは2月、5月、6月、7月、9月、10月、11月、12月です。よって、すべての月に見られないので、正しいとは言えません。

エ：年代Aでは3月、4月を除き、すべての月で「伐採地」が見られますが、年代Bではどの月にも見られません。よって、正しいことがわかります。

オ：年代Bでは1月、4月、5月、10月、11月、12月に「空中」が見られますが、年代Aではどの月にも見られません。よって、正しいことがわかります。

- (3) **A2** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、知識を正しく活用する力が求められます。

$15 \div 136 = 0.1102 \dots$ より、11.0%となります。

- (4) **B2** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、理由を具体化して表現する力が求められます。

まなぶ君とはるこさんの会話に着目します。風車のブレードは40m~50mもの大きさがあります。しかし、4秒で1回転するため、まなぶ君が言うように、ブレードの先端はかなりの速度で回転することになります。そのため、ブレードが見つらいことが考えられます。また、イヌワシは空から獲物を探するため、地上に目を向けています。そのため、風車のブレードに気づかずにぶつかってしまうことが考えられます。この問題では、①理由が正しく書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

- (5) **A2** この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、知識を正しく活用する力が求められます。

グラフの1目もりが1回です。 $1+8+8+4=21$ より、21回ホイッスルを鳴らしています。そのうち、「何もしない」のは $21-2=19$ より、19回とわかります。

1

問五										問四	問三		問二		問一	
つ	利	れ	も		の	な	を	す		人	II	I	で	火	応	
か	用	ば	あ	町	技	っ	特	る	私	間	不	扱	感	星	す	
け	し	、	る	工	術	て	集	ロ	が	の	確	う	な	と	る	
に	た	日	と	場	を	く	し	ボ	注	脳	定	こ	い	い		
な	口	本	い	の	学	れ	た	ッ	目	の	要	と	と	未		
る	ポ	の	う	中	ば	な	テ	ト	し	し	素		づ	知		
こ	ッ	町	。	に	せ	い	レ	の	て	く	が		く	の		
と	ト	工	も	は	る	た	ビ	開	い	み	あ		情	世		
を	に	場	し	職	研	め	番	発	る	が	ま		報	界		
期	よ	が	そ	人	究	に	組	だ	。	り	り		、	環		
待	つ	元	こ	が	が	A	み	。	以	に	多		言	境		
し	て	気	に	減	進	ー	込	。	前	多	す		語	か		
た	、	に	A	つ	め	を	ん	。	、	ぎ	ぎ		や	あ		
い	日	な	の	た	ら	組	だ	。	高	る	る		数	ら		
と	本	か	力	結	れ	み	。	。	度	こ	こ		値	か		
思	が	も	を	果	て	込	。	。	な	と	と		で	じ		
う	活	し	生	、	い	ん	。	。	技	。	。		伝	め		
	気	れ	か	工	る	だ	。	。	術				達	。		
	を	な	す	場	こ	。	。	。	を				し	。		
	と	い	こ	を	と	。	。	。	持				に	。		
	り	。	と	と	じ	。	。	。	つ				く	。		
	も	A	が	知	る	。	。	。	町				い	。		
	ど	ー	で	っ	こ	。	。	。	工				知	。		
	す	を	き	た	と	。	。	。	場				識	。		
	き			。	。	。	。	。	を				を			

250

200

100

25

小学六年  
適性検査C  
——  
解答と解説

2

問三															問二		問一	
わ	だ	だ	り	室	め	け		れ	何	い	る	す			II	I	II	I
る	か	と	で	の	て	使	私	る	を	る	の	る	筆		具	あ	曖	曖
言	ら	こ	「	そ	す	わ	は	よ	し	。	で	方	者		体	ま	昧	昧
葉	こ	ろ	て	う	る	な	受	り	し	し	、	は	は		的	り	な	な
づ	れ	、	き	じ	必	い	け	困	か	し	で	、	、		な	に	言	言
か	い	い	と	を	要	方	取	る	し	、	き	具	「		依	も	葉	葉
い	は	い	う	分	が	が	り	こ	か	、	る	体	よ		頼	甘	を	が
を	は	加	に	担	あ	い	方	と	わ	頼	こ	的	ろ		が	え	避	も
す	相	減	「	す	り	と	に	に	か	ま	の	な	し		な	す	け	っ
る	手	な	と	る	、	思	よ	な	ら	れ	範	要	く		い	ぎ	、	と
よ	の	そ	い	際	二	う	つ	と	な	た	囲	求	「		か	で	明	も
う	立	う	う	に	度	。	て	考	い	方	を	を	と		ぎ	あ	瞭	重
に	場	じ	言	、	手	な	意	え	の	は	相	し	い		り	り	な	ん
心	に	を	業	「	間	ぜ	味	て	「	よ	手	て	う		、	、	言	じ
が	な	さ	を	使	に	な	が	い	よ	ろ	に	頼	言		何	虫	業	ら
け	な	れ	使	き	な	ら	異	る	ろ	し	任	む	業		も	が	を	れ
た	っ	て	っ	せ	ら	具	な	。	く	「	せ	と	を		し	よ	使	て
い	て	困	て	つ	か	体	言		「	と	て	相	使		な	す	う	い
	意	っ	そ	に	ら	的	葉		と	は	い	手	っ		い	ぎ		る
	味	た	う	「	だ	な	は		具	具	と	に	て			る		
	が	こ	じ	と	。	説	で		体	体	考	迷	頼					
	正	と	を	い	以	明	き		を	的	え	惑	み					
	し	が	た	う	前	を	る		出	に	て	が	ご					
	く	あ	の	つ	、	改	だ		さ	に	て	か	と					
	伝	る	ん	も	教	改	だ					か	を					

- (配点)
- ① (問一) 8点
  - (問二) 7点
  - (問三) 4点×2
  - (問四) 7点
  - (問五) 20点
  - ② (問一) 4点×2
  - (問二) 3点×2
  - (問三) 36点
- } 計100点



【解説】

1

問一 B2 この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、具体化する力、表現する力が求められます。

文章Aの——線部①の後に、アフォーダンスについての説明が書かれています。「外界・環境からの信号と『交渉』しながら、そのつど柔軟に対応している」という部分が、人間の脳にある判断のしくみの説明にあたります。これを解答欄に合わせると「入力された「知覚モデル」という部分は、「疑問をなげかける」と文末にあるので、この部分は脳の判断のしくみとは異なることに注意しましょう。

※以下のポイントを中心にみます。

- ① 判断する対象は何なのか書かれているか
- ② 判断する方法がどうなのか書かれているか
- ③ 表記や表現が正しいか

問二 B2 この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、理由を具体化する力、表現する力が求められます。

文章Aの——線部②の後には、クリーチャーと伝統的なAIの設計のされ方にどんな違いがあるかが説明されています。伝統的なAIは周辺機構と中枢が別々に設計されているのに対し、クリーチャーは知覚と行為の系統が層と呼ばれる単位で独立しながらも共役していると書かれています。このように設計された理由を筆者は、「火星という未知の世界ではあらかじめ環境をプログラムできないという制約が、クリーチャーという画期的なロボットの開発につながった」と分析しています。理由を答えるときには、文末を「～から」などとするとよいでしょう。

う。

※以下のポイントを中心にみます。

① 伝統的なAIと異なる方法で開発された理由にあたる内容が書かれているか

② ①が過不足なく書かれているか

③ 表記や表現が正しいか

問三 B1 この問題では、資料を読み取る力、調べる力が求められます。

文章Bの——線部③にある「こうしたこと」が指すものをはつきりさせます。AIにとつては何がどこにあるか「予想を立てる」ことが苦手であるということが、——線部③より前にある、友人の家でコーヒーを入れて飲むという具体例からわかります。「感覚に基づく情報、言語や数値で伝達しにくい知識を扱うことは～まだほとんどできません」と書かれています。これが苦手としている内容です。また、「現実の世界は不確定要素があまりに多すぎる」というところが理由にあたります。それぞれ字数を手がかりにして探してみるといいでしょう。

問四 B1 この問題では、複数の資料を読み取り情報を収集する力、情報を関連づけて推論する力、具体化して表現する力が求められます。

文章A・文章Bに共通して述べられている大切なこととありますので、両方の文章にある似た表現を探します。

文章Aで述べられているAIの研究で重要なこととして「人間の脳やからだの働きが解明されていくこと」という部分と、

文章Bの「人間の脳の解明に限りなく近づいていくから」と

いう部分がよく似ています。まとめる時には、どちらの文章を使ってもかまいません。十字以上二十字以内という短めの字数制限に注意してまとめましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① AIの研究に共通する重要なことについて書かれているか
- ② 表記や表現が正しいか

**問五 C1** この問題では、複数の資料を読み取り情報を収集する力、知識を正しく活用する力、新たなアイデアを創造する力、表現する力が求められます。

**文章A**と**文章B**を読んで、将来AIが利用されていく具体的な可能性について記述する問題です。**文章A**と**文章B**

にある具体的なことかららを利用してもかまいませんし、あなた自身が考えるAIの利用法について書いてもかまいません。

AIについて見たり聞いたりしたことや体験したことがあれば、そこから自分の考えを組み立てると書きやすいかもしれません。また、人間の代わりにものごとを考え、判断することができればどうなるかを想像して、AIが使われる理由を考えることもできそうです。

書き始める前に、条件がすべて入っているかどうかを確認したり、書くべきことを短く箇条書きにして、それをもとにして書いたりするなどの工夫をしておくとなりが書きやすくなります。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① AIが将来どのようなことに利用されるかについて書かれているか
- ② ①に対する理由が書かれているか

③ 読み手が考えを補ったり推測したりする必要のない説明であるか

④ 答案用紙の使い方が正しいか

⑤ 字数制限が守られているか

⑥ 表記や表現が正しいか

2

問一 B1 この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、具体化する力、表現する力が求められます。

——線部①の「あべこべの現象」とは、直前にある、フロイスの考える「ヨーロッパと日本の生活、風俗、習慣で正反対なもの」を意味しています。この問題では、そのうちの「言葉」について答えます。——線部①の後にある「ヨーロッパでは、重んぜられている」の部分がそれにあたります。

I II の直前直後の言葉に続くように記述することができたか確認しましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- I
- ① 日本での言葉についての考え方が説明されているか
  - ② 表記や表現が正しいか
- II
- ① ヨーロッパでの言葉についての考え方が説明されているか
  - ② 表記や表現が正しいか

問二 B1 この問題では、資料を読み取る力、調べる力が求められます。

——線部②以降に筆者の体験が書かれています。筆者がパリに滞在している間、友人から「ぼくの知人の某氏がパリへ行く。よろしく」という手紙を受け取ったことに端を発しています。「よろしく」が何を要求しているのか、さっぱり見当もつかない筆者は、思い悩んだ末に「具体的な依頼がないかぎり、何もしない」ことにしました。「よろしく」の具体的な内容まで筆

者が判断しなければならぬことに対して、「あまりにも甘えすぎであり、虫がよすぎる」と思ったからです。これらの部分に着目して、設問で示されている字数を手がかりに、あてはまる言葉をそれぞれ抜き出します。

問三 C1 この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、知識を正しく活用する力、新たなアイデアを創造する力、表現する力が求められます。

「よろしく」という言葉のとらえ方について、筆者は「中略」より前の文章中で、頼みごとをする立場と頼まれる立場で受け取り方が違うことを述べています。頼みごとをするほうは「迷惑がかからないように、相手のでき得る範囲内で力を貸して欲しい」と、その範囲を相手に任せている」のに対して、頼まれたほうは「頼まれた相手は具体的な要求を出されるよりも、もつと迷惑する」と言っています。ここが「相反する二つのとらえ方」になっています。この二つの違いがわかるように説明するには、立場ごとに分けて書く方法がよいでしょう。

また、「受け取り方によって二つの異なるとらえ方になるような言葉を使うことについて」の部分は、具体的な言葉を考えてもかまいませんが、思いつかなければ文章中の「よろしく」という言葉を使う場合をもとにして考えてもよいでしょう。

「筆者の言う相反する二つのとらえ方の説明」「二つの異なるとらえ方になる言葉を使うことについて」のあなたの考え」「そう考える理由」という四つの書くべき内容があります。書き忘れ、内容の重複がないようにそれぞれについて箇条書きにまとめるなど工夫しておくといでしょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 「よろしく」の相反する二つのとらえ方のうち一方の内容が書かれているか
- ② ①に対するもう一方のとらえ方の内容が書かれているか
- ③ 二つの異なるとらえ方になる言葉を使うことについての自分の考えが書かれているか
- ④ ③の理由が書かれているか
- ⑤ 読み手が考えを補ったり推測したりする必要のない説明であるか
- ⑥ 答案用紙の使い方が正しいか
- ⑦ 表記や表現が正しいか
- ⑧ 字数制限が守られているか

1

問五											問四	問三			問二		問一	
っ	利	れ	も		の	な	を	す			人	II	I		で	火	問一	
か	用	ば	あ	町	技	っ	特	る	私	間	不	扱	感	で	星	応		
け	し	、	る	工	術	て	集	ロ	が	の	確	う	覚	き	と	す		
に	た	日	と	場	を	く	し	ボ	注	脳	定	こ	に	な	い	る		
な	ロ	本	い	の	学	れ	た	ッ	目	の	要	と	基	い	う			
る	ボ	の	う	中	ば	な	テ	ト	し	し	素		づ	未	知			
こ	ッ	町	。	に	せ	い	レ	の	て	く	が		く	知	の			
と	ト	工	も	は	る	た	ビ	開	い	み	あ		情	制	界			
を	に	場	し	職	研	め	番	発	る	が	ま		報	約	・			
期	よ	が	そ	人	究	に	組	だ	A	に	り		、	が	環			
待	っ	元	こ	が	が	A	を	。	の	多	に		言	あ	境			
し	て	気	に	減	進	を	組	若	利	す	ぎ		語	つ	か			
た	、	に	A	っ	め	み	み	い	用	ぎ	る		や	た	ら			
い	日	か	の	た	ら	込	ん	る	方	る	こ		数	た	か			
思	本	も	力	結	果	だ	だ	ロ	法	こ	と		値	め	じ			
う	が	し	を	、	工	口	ボ	ッ	は	。	。		で	。	め			
	活	れ	生	工	場	ポ	ッ	に	、				伝	環	境			
	気	な	か	を	と	ト	ト	職	職				達	境	を			
	を	い	す	と	知	に	に	人	人				し	を	プ			
	と	。	こ	じ	っ	職	職	代	代				に	く	ロ			
	り	A	が	る	た	人	人	わ	わ				く	い	グ			
	も	。	で	こ	。			り	り				い	知	ラ			
	ど	。	き	と				を	を				知	識	ム			
	す	。	き	と									識	を				
	き												を					

250

200

100

25

小学六年  
適性検査D  
——  
解答と解説

問三																	
耳	き	の	ぎ	っ		人	す	だ	し	ま		ら	方	と	を	い	
を	る	が	ま	き	し	の	る	と	、	ま		れ	が	さ	言		
か	だ	で	な	り	か	反	か	思	自	ま		て	あ	れ	わ		
た	け	き	意	と	し	感	ら	う	分	で		き	っ	ず	、		
む	自	あ	見	意	、	を	か	。筆	の	は		、	、	、	あ		
け	分	が	を	見	よ	買	で	者	意	よ		は	、	あ	い		
る	の	る	出	を	り	いた	は	の	見	よ		つ	こ	こ	い		
よ	意	可	し	言	い	く	、	言	を	い		き	と	と	ま		
う	見	能	合	う	も	な	自	う	を	場		り	が	あ	相		
に	を	性	っ	必	の	い	分	よ	言	面		と	げ	手	を		
し	は	が	て	要	を	作	の	う	わ	も		も	ら	を	尊		
た	っ	高	よ	が	作	り	意	に	ず	あ		の	れ	重	と		
い	き	ま	い	あ	り	上	見	あ	に	い		を	。ま	す	す		
と	り	る	と	る	げ	て	は	い	ま	い		い	。ま	る	る		
思	と	か	ろ	思	い	い	な	き	に	す		う	。他	。考	。考		
っ	言	ら	を	う	く	か	り	り	人	の		こ	。考	え	え		
て	い	だ	集	な	場	と	言	方	の	意		と	。考	え	。考		
い	相	だ	め	な	面	思	言	を	も	見		が	。考	え	。考		
る	手	か	れ	ぜ	で	う	方	上	そ	に		下	。考	え	。考		
	の	ら	ば	な	は		を	品	の	同		品	。考	え	。考		
	意	、	、	ら	は		上	と	一	調		だ	。考	え	。考		
	見	私	い	さ	は		品	と	つ			と	。考	え	。考		
	に	は	も	ま			と	他				考	え	。考	え		
	も	で										え	。考	え	。考		

450

400

300

200

100

25

問二		問一
II	I	(2) (1)
が	多	は
だ	半	じ
い	、	め
た	一	日
い	半	本
き	、	人
ま	小	は
ま	半	相
っ	と	終
て	い	わ
い	い	り
る	言	て
	葉	い
	が	る
	あ	か
	り	ら
	、	
	そ	
	れ	
	ぞ	
	れ	
	の	
	割	
	合	

(配点)

- ① (問一) 8点
  - (問二) 7点
  - (問三) 4点×2
  - (問四) 7点
  - (問五) 20点
  - ② (問一) 3点×2
  - (問二) I…3点 II…5点
  - (問三) 36点
- } 計100点

【解説】

1

問一 B2 この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、具体化する力、表現する力が求められます。

文章A の——線部①の後に、アフォーダンスについての説明が書かれています。「外界・環境からの信号と『交渉』しながら、そのつど柔軟に対応している」という部分が、人間の脳にある判断のしくみの説明にあたります。これを解答欄に合わせるためとめます。「入力された「知覚モデル」という部分は、「疑問をなげかける」と文末にあるので、この部分は脳の判断のしくみとは異なることに注意しましょう。

※以下のポイントを中心にみます。

- ① 判断する対象は何なのか書かれているか
- ② 判断する方法がどうなのか書かれているか
- ③ 表記や表現が正しいか

問二 B2 この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、理由を具体化する力、表現する力が求められます。

文章A の——線部②の後には、クリーチャーと伝統的なAIの設計のされ方にどんな違いがあるかが説明されています。伝統的なAIは周辺機構と中枢が別々に設計されているのに対し、クリーチャーは知覚と行為の系統が層と呼ばれる単位で独立しながらも共役していると書かれています。このように設計された理由を筆者は、「火星という未知の世界ではあらかじめ環境をプログラムできないという制約が、クリーチャーという画期的なロボットの開発につながった」と分析しています。理由を答えるときには、文末を「〜から」などとするとよいでしょう。

う。

※以下のポイントを中心にみます。

① 伝統的なAIと異なる方法で開発された理由にあたる内容が書かれているか

② ①が過不足なく書かれているか

③ 表記や表現が正しいか

問三 B1 この問題では、資料を読み取る力、調べる力が求められます。

文章B の——線部③にある「こうしたこと」が指すものをはつきりさせます。AIにとつては何がどこにあるか「予想を立てる」ことが苦手であるということが、——線部③より前にある、友人の家でコーヒーを入れて飲むという具体例からわかります。「感覚に基づく情報、言語や数値で伝達しにくい知識を扱うことは〜まだほとんどできません」と書かれています。これが苦手としている内容です。また、「現実の世界は不確定要素があまりに多すぎる」というところが理由にあたります。それぞれ字数を手がかりにして探してみるといいでしょう。

問四 B1 この問題では、複数の資料を読み取り情報を収集する力、情報を関連づけて推論する力、具体化して表現する力が求められます。

文章A ・文章B に共通して述べられている大切なこととありますので、両方の文章にある似た表現を探します。

文章A で述べられているAIの研究で重要なこととして「人間の脳やからだの働きが解明されていくこと」という部分と、

文章B の「人間の脳の解明に限りなく近づいていくから」と

いう部分がよく似ています。まとめる時には、どちらの文章を使ってもかまいません。十字以上二十字以内という短めの字数制限に注意してまとめましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① AIの研究に共通する重要なことについて書かれているか
- ② 表記や表現が正しいか

**問五 C1** この問題では、複数の資料を読み取り情報を収集する力、知識を正しく活用する力、新たなアイデアを創造する力、表現する力が求められます。

**文章A**と**文章B**を読んで、将来AIが利用されていく具体的な可能性について記述する問題です。

**文章A**と**文章B**自身がある具体的なことから利用してもかまいませんし、あなた自身が考えるAIの利用法について書いてもかまいません。

AIについて見たり聞いたりしたことや体験したことがあれば、そこから自分の考えを組み立てると書きやすいかもしれません。また、人間の代わりにものごとを考え、判断することができればどうなるかを想像して、AIが使われる理由を考えることもできそうです。

書き始める前に、条件がすべて入っているかどうかを確認したり、書くべきことを短く箇条書きにして、それをもとにして書いたりするなどの工夫をしておくとなんか書きやすくなります。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① AIが将来どのようなことに利用されるかについて書かれているか
- ② ①に対する理由が書かれているか

③ 読み手が考えを補ったり推測したりする必要のない説明であるか

④ 答案用紙の使い方が正しいか

⑤ 字数制限が守られているか

⑥ 表記や表現が正しいか



## ②

問一 B1 この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、

調べる力が求められます。

(1) 「ないとはいえない」のような表現を「重否定くわいひてい」といいます。

「ない(否定)」を否定するので、「必ず」ある」と考えがちですが、実際は「全然ないわけではない」少しはある」という意味で用いられています。したがってイが正解となります。

(2)はその理由を説明した部分が直後に書かれています。「日本人は相手は何も知らないということ前提にして話をする」とを、たいへん失礼なことと思っているから」がそれにあたります。

問二 B1 この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、

調べる力、具体化する力、表現する力が求められます。

——線部②の直前に書かれている中国の知人の「大半」にまつわる説明について筆者は感心しています。そして日本では「大半」という言葉だけが使われて、割合がどのくらいかはつきりしないのに対して、中国では「大半」以外にも言葉が細かくあり、割合もだいたい決まっている、ということがわかります。

Iには日本の「大半」に関する考え方が入るので、「何割などと厳密に考えてみたこともなかった」があてはまります。IIには知人の話した内容を字数に合うようにまとめます。具体的な割合を表す語を入れるかどうかは、字数制限に応じて判断します。

※IIは以下のポイントを中心に見ます。

- ① 割合を表す語の種類についての説明が書かれているか
- ② ①の言葉が表す割合に決まりがあることが書かれているか

- ③ 表記や表現が正しいか

問三 C1 この問題では、資料を読み取り情報を収集する力、

知識を正しく活用する力、新たなアイデアを創造さいぞうする力、表現する力が求められます。

——線部の直前に「こうして」とあるので、「日本語はあいまい性を徳とするようになった」は結果を表すことがわかります。もともなったことにあたる内容はこの部分より前に書かれています。一段落前からの内容を見ると、日本人は「あからさまな言葉Ⅱ下品Ⅱきらう」という考えと「あいまいな表現Ⅱ上品Ⅱ好む」という関係があることが「あいまい性を徳とするようになった」もとであるといえるでしょう。この部分を二つに分けて説明します。「あからさまな言葉、あいまいな表現」や「上品、下品」といった対たいになる表現を使うとまとめやすいでしょう。

「日本語があいまい性を徳と考えることについて」のあなたの考えは、身近な例があればそれをもとに考えを組み立ててもかまいません。思いつくものがなければ、文章中の例を参考にして考えるのもよい方法です。

書き忘れ、内容の重複じゅうごうがないようにそれぞれについて箇条書かじょうきにしてまとめるなど工夫しておくとよいでしょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 「日本語はあいまい性を徳とするようになった」原因の一つが書かれているか
- ② ①以外のもう一つの原因が書かれているか
- ③ 「日本語があいまい性を徳と考える」ことについての自分の意見が書かれているか

- ④ ③の理由が書かれているか
- ⑤ 読み手が考えを補ったり推測したりする必要のない説明であるか
- ⑥ 答案用紙の使い方が正しいか
- ⑦ 表記や表現が正しいか
- ⑧ 字数制限が守られているか